

報 告 書

開 催 日 時	令和3年11月27日(土) 18時30分 ~ 19時30分		
自治協議会名	高尾住民自治協議会	開 催 場 所	高尾地区市民センター
出 席 議 員	北森 徹、西口 和成、西條 エリ子、宮崎 栄樹		
	班 長	北森 徹	記録・報告者 西條 エリ子
参 加 人 数	19 名		

【主な意見・提言等】

< 高齢化・人口減少による当地域の現状と課題 >

- ・現在141世帯 283人 高齢化、過疎化、限界集落がすべて当てはまる地域であるが、安心してこの地で暮らしていきたい、楽しく生活できるようにと、前向きに自治活動に取り組んでいる。
- ・交通手段については、距離のある病院の通院などは、地域行政バスが運行している。
- ・高齢者のデイサービスセンターは、社協が運営し、地域の方が担い手として協力している。
- ・住民自治活動は担当部会によって、夏祭りや運動会などを開催し、地区の住民が一体となって地域を盛り上げる意識が高い。川上ダムの完成により、ダム上流と下流の地区が協力した共生社会となるように活動もしている。
- ・SNSの発信により、地域の文化遺産やインスタポイントに、各地からバイカーや人が訪れる。地域では、クリーンデーに草刈り奉仕などを行い自然環境を守っている。
- ・移住世帯が12軒ありその内、子育て世帯2軒がスクールバスで青山小学校に通学していて、地域の方は、見守りなどで交流がある。
- ・外国籍の方の高尾地区への空き家移住は考えられるか？（議員）←地域的に閉鎖的などころがあると考えられるので、難しい部分もある。（地域）

< 農地・林地の荒廃と獣害について >

- ・近年さらに獣害がひどくなってきている。伊賀市獣害対策協議会からの補助は、柵の補修代20万円のみである。もう一度、広い面積を保全する対策を考えて欲しい。市ではソフトの部分で、猟友会の会員の免許支援を行い、獣害、頭数を減らす目標であるが、高齢化が進む地域での免許取得は難しい。市・県・国の連携で、科学的な対策をお願いしたい。

< 市民センターについて >

- ・当地区は指定管理を受けるが、市全体ではどのような方向性となっているのか。←今回は8地区が指定管理を受ける。
- ・人口減少により、自治協、自治会の存続も難しくなっているのが現状である。今後、自治協の合併も考えなければいけない時期が来るのではないかと。

- ・伊賀市のビジョンとして、住民が安心して暮らせ、どこの地域に住んでいても公共サービスの公平性が感じられるものを住民に示されたい。
- ・高尾地区の体育館施設が廃止の方向だとスポーツ振興課から聞いている。現在、市の指定避難所となっていて防災機器も収納されているが、体育施設として残されなくても地域としての防災に係る施設が欲しい。←地域の要望としてあげていただく。

伊賀市議会議長 様

令和3年11月30日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 1 班

班長 北森 徹
